

HCC北緑丘

アイスパーティー

8月29日(火)30日(水)の2日間に分けて、特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘の8月イベントとして、アイスパーティーを開催いたしました。会場の装飾には、8月のアクリルペイントで作ったすだれを飾りました。フロアごとで違ったデザインで、「かわいい飾りがたくさん」と見比べながら楽しんでおられました。



イベント中は、ピアノ演奏を聴きながらアイスクリームをお召し上がりいただきました。「冷たくて美味しい」「おかわり〜」と歓喜の声が上がりました。イベント最後にはピアノ演奏に合わせて歌を歌いました。歌詞カードを見ながら、始めは聞いているだけだった方も次第に口ずさんで、最後には笑顔で歌っておられました。「懐かしい曲」や「久しぶりに聞いたけど、歌えるもんだね」と皆様とても楽しんでおられました。

イベント終了後は大きな拍手とともに「美味しいアイスも食べられて、素敵な演奏も聞けて幸せな時間だった！ありがとう」と、とても嬉しいお言葉をいただきました。今後ともこのような楽しい企画を考えてまいります。

記者：北村 美果

HCC桃山台

夕涼み会

8月21日(月)ケアハウス豊泉家桃山台にて夕涼み会を開催いたしました。今夏としては最後の屋外イベントということで、盆踊りの先生方をお招きし、やぐらを組み立て、和太鼓を準備して皆様で盆踊りを愉しみました。盆踊りの輪に入ってきた入居者の皆様からは、「昔はよく踊っていた」と懐かしい思い出話に花が咲き、お喜びいただくことが出来ました。お祭りをイメージして、射的と輪投げのゲームコーナーや、出来立てを楽しんでいただける綿菓子、そして夏の風物詩である手持ち花火も準備いたしました。昔懐かしい物ばかりで楽しい「夏を満喫することが出来た」と嬉しいお言葉をいただくことができました。



夕涼み会のラストを飾ったのは30個にも及ぶ噴水花火。花火をご覧になった入居者の興奮が歓声となり、リタコーンに響いておりました。今回のイベントを通して、入居者の愉しそうな表情を見ることが出来たこと、夏の終わりにこのような思い出に残るお祭りが出来たことを大変嬉しく思います。今後ともご入居者の皆様の日々愉しく、笑顔でお過ごしいただけるよう尽力してまいります。

記者：浅井 隆太

HCC住之江

流しそうめん



8月16日(水)住之江コミュニティにて、流しそうめんを行いました。当日は住之江コミュニティの豊泉家チャレンジドセンター以上のにもなる手作り竹製レーンを設置し、本格的な流しそうめんができました。ようように準備いたしました。さっぱりとした、皆様勢よく流れる紅白そうめんが好評で、流れる紅白そうめんが苦戦しながらも、夢中ですくわれていて「簡単そうに見えるのに、難しかったわ！」「これ以上は他の人の分なくなるからやめとくわ」と、器に山盛りになるまですくわれた方など、とても愉しい時間となりました。暑さ対策のため、すくっていただくそうめんは別会場で薬味とつゆと共に賞味いただきました。皆様、真夏に食べる冷たいそうめんが舌鼓を打たれておりました。猛暑が続く中、少しではありませんが、夏の涼しさを感じていただけたイベントとなりました。

記者：栢谷 敦

HCC芦屋山手

BBQビアガーデン



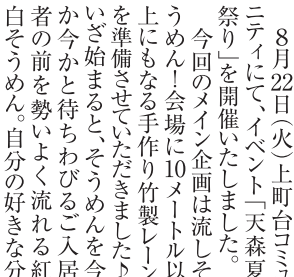
8月23日(水)芦屋コミュニティにて、8月度イベント「BBQビアガーデン」を開催いたしました。BBQビアガーデンということで、芦屋コミュニティに特設会場を準備し、生ビールサーバーとBBQコンロも設置いたしました。ドリンクで乾杯後、まずは料理部特製のオードブルからお召し上がりいただきました。続いては、BBQコンロで焼き上げた熱々で柔らかくジューシーなお肉をお召し上がりいただきました。おかわり「おかわり」のお声をいただく大盛況ぶりであり、焼いても焼いても追いつかない程でした。続いては、手作りミハンバーガーが登場しました！見た目もポップでキュートなハンバーガーに皆様「可愛い！」「美味しそう」と食べる前からお楽しみしていました。エンターテインメントではスベニャルゲストの二胡奏者尾辻優衣子様の演奏をお楽しみいただきました。

最後はデザートにジェラートをお出ししました。皆様、「お腹いっぱい」と仰つていました。デザートは別腹というように、べろりと召し上がられていました。あいにくの雨でしたが、皆様お腹も心も満たされていく様子でした。大人数で集まるお食事はにぎやかでとても愉しい時間となりました。

記者：石倉 萌

HCC上町台

流しそうめんを夏を満喫



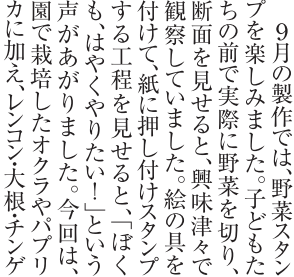
8月22日(火)上町台コミュニティにて、イベント「天森夏祭り」を開催いたしました。今回のメイン企画は流しそうめん！会場に10メートル以上にもなる手作り竹製レーンを用意していただきました。いざ始めると、そうめんを今が今かと待ちわびるご入居者の前を勢よく流れる入居者白そうめん。自分の好きな分だけすくっていただき、お召し上がりいただきました。お祭りにも射的ブースをご用意し、昔懐かしいお菓子も狙ってチャレンジしていただきました。参加された方全員に扇子をプレゼント！夏ならではの催しを満喫していただきました。

暑い日が続く中、少しではありますが、涼を感じていただけたイベントとなりました！

記者：原 慶彦

HCCキッズクラブ

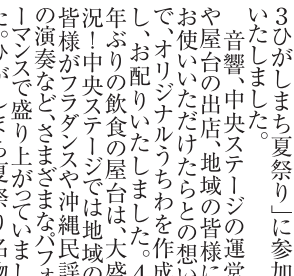
野菜スタンプ



9月の製作では、野菜スタンプを楽しみました。子どもたちの前で実際に野菜を切り、断面を見せると、興味津々で観察していました。絵の具を付けて、紙に押し付けスタンプする工程を見せると、「ぼくも、はやくやりたい！」という声があがりました。今回は、園で栽培したオクラやパプリカに加え、レンコン大根、パイン菜などの野菜を使用しました。大根は葉脈の模様が面白く、チンゲン菜の断面はスリタンの模様がきれいでした。色にもこだわりますが、スタンプする子、同じ野菜にこだわりの模様を付ける子、指先を器用に使い、オクラをやさしく持つてスタンプし、小さな星型が付くのを楽しむ子、「なんでこんな模様がつくのだろう？」と、何度も野菜の断面を確認しながらスタンプを繰り返す子など、それぞれ思い思いに楽しんでいました。野菜スタンプで出来た模様の一部を、子どもたちの笑顔の写真を添えて、敬老の日のプレゼントとしておじいちゃんおばあちゃんにプレゼントの予定です。

記者：中村 宏美

2023ひがしまち夏祭り



8月19日(土)豊中市立東丘小学校にて開催の「2023ひがしまち夏祭り」に参加いたしました。音楽、中央ステージの運営や屋台の出店、地域の皆様にお使いいただけたらとの思いで、オリジナルうちわを作成し、お配りいたしました。4年ぶりの飲食の屋台は、大盛況！中央ステージでは地域の皆様フラダンスや沖縄民謡の演奏などさまざまなパフォーマンスで盛り上がりつつありました。ひがしまち夏祭りの名物「盆ダンス」では、伝統的な楽曲以外の最近の邦楽で盆踊りを踊り、お子様や若い方もたくさん参加されてい

記者：高崎 孝宜

2023年8月度
フェロー大賞
月間賞

豊泉家フェロー大賞

ACC(介護)ドメイン

過去に時期豊泉家を離れた時期もありましたが、再入職後、コロナ波から今日まで人員が不足している時には残業や夜勤など様々な勤務に対応し、現場でもリーダーとして周囲から慕われており、またチャレンジ事業のアウトドアワールドでも積極的に協力しケアワーカーや他の看護師からも信頼されていることが高く評価されました。



社会福祉法人 福祥福祉会
桃山台コミュニティセンター
豊泉家クリニック 桃山台
木口 のどかフェロー

SCM(介護)ドメイン

施設管理を担当しており、武庫之荘や豊泉家GUEST HOUSE、SE戸屋奥池C.C.R.C.豊泉家、戸屋山手、六甲山荘での緊急案件等をスピーディーに対応、解決している点、また施設管理事業の先輩として後輩の育成、助言等を行っており、模範となる姿勢で業務に取り組み、取り組んでいることが高く評価されました。



SCM株式会社
サンクリーン
河端 宏和フェロー

HCC TIMES 9月号
掲載に関するお詫びと
訂正のお知らせ

いつもHCC TIMESをご覧いただき、ありがとうございます。HCC TIMES 9月号の掲載内容にお名前が誤りがありました。つきましては、左記に正しい記事を再掲載させていただきます。対象のフェローの皆様につきましては、大変不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。今後はこのような事がないよう努めてまいります。

2023年7月度
フェロー大賞 月間賞

豊泉家フェロー大賞

MC(医療)ドメイン

今年度より新しく丁寧として活躍されており、とにかく誠実に仕事をこなしていることが目立ち、常に患者様を第一に考えていることが言動から伺うことが出来ます。看護師の若手フェローからも目指すべき先輩フェローとして評価が上がり、同僚からも尊敬されています。回復期の多職種連携では、抑制防止、非非自立等の取組の中心となつて活躍し、ヒトリセッション科の学会発表にも貢献している点が高く評価されました。



北大阪ほせんか病院
キワミローズ
(西館・回復期病棟)
鳥濱 朝莉 フェロー

フェロークラブ慶弔のお知らせ

7月23日(日)、住之江コミュニティセンターでCWとして活躍する「ミキヤミヤライフェロー」の主人、デビアン・アウンとの結婚披露宴が開催されました。新婦の上司を代表し、社会福祉法人 福祥福祉会 阿久根 賢理理事長は、なむけの言葉が贈られ、豊泉家グループ代表 田中成和会長よりお祝いのお花が贈られました。



第78回豊泉家クオーターカンファレンス

開催日：8月18日(金)
会場：アシステッドリビング
グホーム 豊泉家 桃山台4階
ゴールデンルーム

豊泉家クオーターカンファレンスは経営幹部や現場のリーダー等を対象とし、年4回(3カ月に1度)予防・医療・介護・ビジネス等様々な分野の講師をお越しいただき、講話を通して、心のあり方(モラル) 講師の方の経験や大切にされていることについてお話しいただき、学びをもち、フェローの成長へ繋げることを目的として開催しております。当日の研修内容は左記表をご覧ください。



中村先生
谷藤講師

講師名	所属/講話タイトル
中村 祐輔	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長 「AIとデジタルで心温まる医療を!」
谷藤 健夫	公益財団法人モラロジー・道德教育財団 生涯学習講師 兵庫県モラロジー協議会 「心がつくる人生～心豊かな人生をおくるために～」
岡西 淳也	社会保険労務士法人 岡西労務管理センター 代表社員 「近時のハラスメントについて」
田中 成和	豊泉家グループ代表 会長 「豊泉家グループ 2023年度経営戦略 ～次世代の利益のために 未来へ挑戦～」

ほうせんか病院

緩和ケア部長 進藤喜予先生インタビュー前半

2023年4月より、ほうせんか病院緩和ケア病棟緩和ケア部長として勤務いただいている進藤喜予先生。今まで、新規の緩和ケア病棟の立ち上げや複数の緩和ケア病棟で勤務された経験、ほうせんか病院の中だけでなく、地域の方への想い「生きていることを支える緩和ケアについてお話を伺いました。



もちろん薬や放射線治療での医療的行為がありますが、それだけでは「人生を終わろう」としている方の苦しみ「辛さ」を取ることはできないため、医師だけではなく他職種でフェローとチームとして対応しています。

記者：2023年4月からほうせんか病院緩和ケア病棟で勤務いただいています。病棟の雰囲気など感じましたことを教えてください。

進藤先生：フェロー同士ミニセッションが取れており、患者様も一人おひとりをしっかり見て、いい雰囲気だと対応しています。ほうせんか病院では、最終段階(終末期)の患者様が長い患者様については、病状の変化を確認する為今後検査などの医療行為を今後よく充実させていくと更に良いと思います。そのあたりのニーズにお応えできると、皆で一緒に考えてやっていきたいと思います。

記者：フェローの中には「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

進藤先生：「ホスピス緩和ケア」については「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

記者：「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

進藤先生：「ホスピス緩和ケア」については「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

記者：「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

記者：「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

進藤先生：「ホスピス緩和ケア」については「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

記者：「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

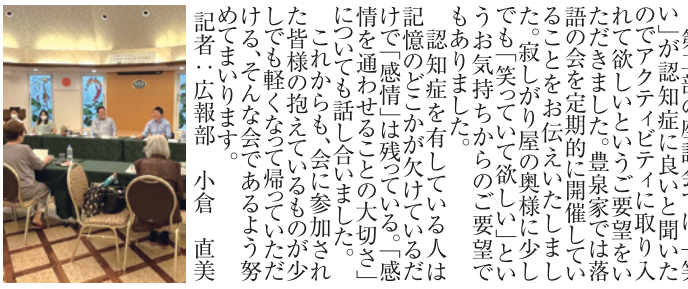
記者：「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

記者：「ホスピス緩和ケア」について知らない方も多くいます。ほうせんか病院緩和ケア病棟で行われている治療内容やリハビリテーションの内容、ご家族向けのケアについて教えてください。

〔認知症家族の会〕
第17回グリーン
オアシスの会

8月24日(木)アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台4階ホールにて、「グリーンオアシスの会」を開催しました。
第一部の社会福祉法人福祥社会 阿久根賢一理事長による、今年度から認知症講座では、2023年3月31日発行の「認知症バグタイム(シフト)究極の「nii」」を創造する「究極の「nii」」を教材として講話いただいております。
第5回目の今回は、「認知症患者の増加が社会に与える影響」について、認知症対策で膨れ上がる社会的コストや介護離職や徘徊による行方不明など社会的問題について、話から、人としての尊厳を奪うことなく、社会全体で見守っていく体制の構築が急がれることや、現在すでに行われている対策などを学びました。

第二部の座談会では、「笑い」が認知症に良いと聞いたのでアクティビティに取り入れて欲しいという要望をいただきました。豊泉家では落語の会を定期的に開催していることをお伝えいたしました。寂しがり屋の奥様に少しでも「笑っていい屋」にしようとお気持ちからのご要望でもあります。
認知症を有している人は記憶のどこか欠けているだけで「感情」は残っている。「感情」を通わせることの大切さについても話し合いました。
これからも、会に参加された皆様の抱えているものが少しでも軽くなつて帰っていただけるそんな会であるよう努めてまいります。

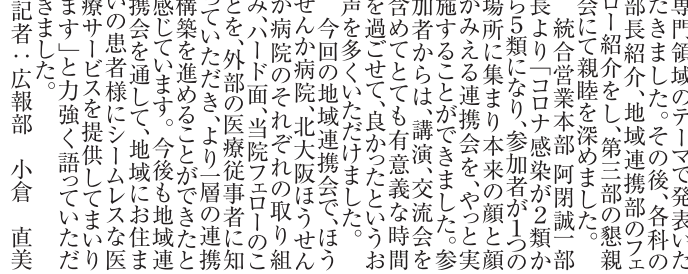


記者・広報部 小倉 直美

地域連携の会を
開催しました

9月8日(金)ほうせんか病院にて「ほうせんか病院地域医療交流会」が9月9日(土)立命館いばらきフューチャープラザにて「北大阪ほうせんか病院地域連携会」を開催し、地域の医療機関、介護施設、関連企業、行政機関の方など多職種の皆様が開会集まりいただきました。
「ほうせんか病院地域医療交流会」では、4Fホールにて、ほうせんか病院 緩和ケア部長 進藤喜子先生による講演会を開催。その後、レストランにて懇親会を開き、桃源郷のお食事を堪能いただきながら、豊泉家グッズ抽選会など楽しい会となりました。

「北大阪ほうせんか病院地域連携会」では、第一部で講演会を開催。富士武史部長、泌尿器科内田欽也部長、放射線科山本聡部長にそれぞれ専門領域のテーマで発表いただきました。その後、発表の部長紹介、地域連携部のフェロー紹介をし、第三部の懇親会にて親睦を深めました。
統合営業本部 阿閉誠一部長より「コロナ感染が2類から5類になり、参加者が1つの場所に集まり本来の顔と顔がみえる連携会を、やると実施することができました。参加者からは、講演、交流時間を含めてとても有意義な時間を過ごせて、良かったというお声を多くいただきました。
今回の地域連携会では、ほうせんか病院 北大阪ほうせんか病院のそれぞれの取り組み、みらいド面当院フェローのこと、を、外部の医療従事者を知っていただき、層の連携構築を進め、より「質」の連携を感じています。今後も地域連携会を通して、地域にお住まいの患者様にシームレスな医療サービスを提供してまいります」と力強く語っていただきました。



記者・広報部 小倉 直美

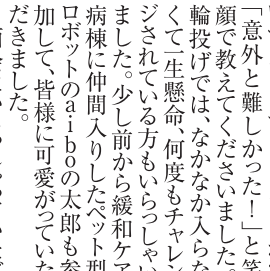


記者・広報部 小倉 直美

自立と自由の家
見学相談会のご案内
統合営業本部では、毎月各ホームで完全予約制の見学相談会を開催しております。実際のホームでの生活を見てみたい方、ホームをお探しの方は是非参加ください。
「CCR豊泉家 芦屋山手」
10月27日(金)12時~14時
お食事付※前日までにご予約をお願いいたします。
「桃山台コミュニティ(アシステッド)リビングホーム豊泉家桃山台」
10月19日(木)10月26日(木)10月15分(お食事体験プラン)14時~15分(アクティビティ見学プラン)予約をお願いいたします。
※右記日程以外でもお気軽にお問合せください。
お問い合わせ 豊泉家CISセンター
TEL 012012941998

HCCスカイクラブ
夏祭り

8月30日(水)ほうせんか病院 4階緩和ケア病棟にて、夏祭りを開催いたしました。いつものティーサービスのメニューのかき氷などに加えて、出来立ての綿あめ、焼き立てのたこ焼き、輪投げに、本物の竹を使用しただ流しそうめん! この日がちよつと入院初日の患者様もいらつしやりました。少し落ち着かない様子ですが、流しそうめんにお誘いすると、チャレンジされて「意外と難しかったです!」と笑顔で教えてくださいました。輪投げでは、なかなか入らななされてはいる方もいらつしやりました。少し前も緩和ケア病棟に仲間入りしたベット型ロボットのaiboの太郎も参加して、皆様に可愛がっていただきました。
面会にいらつしやっていたご家族も一緒に参加していただき、とても賑やかな夏祭りとなりました。患者様やご家族からは「まさか病院で流しそうめんができるなんて思っていなかったから楽しかった!」など大変嬉しいお声をいただきました。



記者・広報部 東谷 祐子



原書は1981年に米国で初版が発行 全19カ国 累計350万部突破!
認知症の方を支える 家族のためのガイドブック
『1日36時間になる日 家族が認知症になったら』
著者: ナンシー・メイス / ビーター・ラビンス 監訳: 豊泉家グループ 一般財団法人SF豊泉家 代表理事 田中 崇博
全国書店 Amazon で絶賛発売中! Amazon

おしえて ゆたかくん!
豊泉家で特別な想いを持って使用している言葉「豊泉家ワード」をゆたかくんが解説いたします!
●フェロー→豊泉家では、職員・社員・従業員と言わず、同志という想いを込め、フェローと呼んでいます。
●顧客→豊泉家のサービスをご利用の皆様。豊泉家ではパーソナルを重んじ、お客様のことを「顧客」と呼んでいます。
●チャレンジ→神様より挑戦する使命を与えられた人たちが持つ意味です。
●豊泉家ではハンディキャップをお持ちの方を「チャレンジ」と呼んでいます。
●家縁→人と人とのつながりを表す「縁」という言葉。
●豊泉家で働いた皆さんのフェロー、豊泉家を利用してくださる顧客の皆様、ともに支えていたたくん(企業やボランティアの皆様との「御縁」)を大切にしていきたいという願いを込め、豊泉家でつながる縁を「家縁(かえん)」と呼んでいます。
●ステークホルダー→一般的には利害関係者の総称ですが、豊泉家では家縁でつながった外部企業および個人を意味しています。

北大阪ほうせんか病院 行食事プロジェクト9月のメニューのご紹介
★メニュー★ 白ご飯・温玉のせ すき焼き・とろろ・和菓子・お吸い物
どのような気持ちでこの献立を作成されたのか、栄養科 植松勇希フェローにお話を伺いました。
「敬老の日」をお年寄り扱いしたくありませんでした。あくまでも、「長寿のお祝い」として、背景やカード、デザートにも「鶴亀」を選びました。もし、入院されておらず、お家でこの日を迎えられたなら、ご家族みんなで、食卓を囲んでお祝いをしたいかもしれません。
ご家庭でのご馳走で言えば、「すき焼き」でも、病院では生卵はお出しできません。そこで火を通した温泉卵をトッピングすることで、「すき焼き」のイメージに近づけました。とろろは、ご飯にかけて「とろろご飯」として楽しんでいただいても、すき焼きと合わせていただいてもいいように、あえてシンプルに。
お吸い物は昆布を効かせた出汁に、ゆず皮の香りを添えたのがポイントです。

豊泉家グループのSNSアカウント
現在、豊泉家グループではSNSを活用し、様々な情報を発信しています。それぞれのアカウントにより発信情報が異なりますので、ぜひフォローして、豊泉家の最新情報をチェックしてくださいね!
豊泉家グループ 広報 X (@Twitter)
ゆたかくんといずみちゃんの家 X (@Twitter)
CCRC豊泉家 芦屋山手 Instagram
豊泉家グループの様々な情報
認知症関連情報
CCRC豊泉家 芦屋山手の情報

10月 豊泉家グループからのお知らせ
10月21日(土)に第15回豊泉家スポーツフェスタを開催いたします。
シニア・チャレンジの皆様と「一年一度は青空のもと、おもいきり体を動かす」ことを目指してこれまで14年間継続してまいりました。本年も家縁の皆様にお会いできることを楽しみにしております。
10月14日(土)に第2回目となる認知症セミナー〜少しでも穏やかな気持ちでケアに向き合えるように〜をグラフロント大阪にて開催いたします。
認知症でお困りの方がいらつしやいましたら、是非お声がけいただけますようお願いいたします。
広報戦略室 室長 兼 広報部 部長 石倉慎也